

日本学生支援機構奨学金 予約採用者向け説明資料

Quality Of Life
Supporters

全15学科で“チーム医療”を学ぶ

看護・医療・リハビリ・栄養・スポーツ・福祉の総合大学



新潟医療福祉大学

学務部 学生課 奨学金担当

2024年3月

予約採用とは

予約採用とは、大学に進学する前に高校等で事前予約をする奨学金の採用方式です。申請済みの方は**令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知**が既に交付されています。

奨学生採用候補者の皆さんは、本学入学後「進学届」の手続きを経て正式に奨学生となります。

本説明資料は、**令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知**をお持ちの方が対象です。

大学進学後に奨学金の申請を希望する方は、**在学採用の説明資料**をご確認ください。

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。

令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】

令和5年10月16日

登録番号 99999901-100-00999 3年 10組 交付書類コード=F
 学年等 出席番号 A000001
 氏名 学校用 見本 (カキコト 様) 印コードにより交付される書類が異なります。封筒の裏面にご確認ください。

99999901 #5999999 独立行政法人日本学生支援機構

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	貸与奨学金			
	第1希望	第2希望	第3希望	大学特別奨励金貸与奨学金
希望する	併用貸与	第一種奨学金	第二種奨学金	希望する

選考結果	給付奨学金		貸与奨学金	
	候補者決定	併用貸与(併)	第一種奨学金	第二種奨学金
奨励 在学奨励等	○	○	—	—
奨励に関する基準	○	○	—	—
学業成績・学修意欲に関する基準	○	○	—	—
高卒後の状況・高卒認定合格(見込)	○	○	—	—
必要書類の提出	○	○	—	—

※1 併用貸与とは、第一種奨学金と第二種奨学金の併用を指すことを示しています。
 ※2 「併」は併用、併用貸与(併)は、併用貸与(併)が奨学金の申請要件に該当する場合があります。
 ※3 「—」は希望していない(もしくは希望期間の満了(申請の決定))のため未判定であることを示します。
 ※4 「奨励(奨励等)」は「奨励(奨励等)」は、奨励(奨励等)は、奨励(奨励等)を指す場合があります。

2. 採用候補者となった奨学金の内容について

利用条件	給付奨学金(併)	第一種奨学金	第二種奨学金	大学特別奨励金貸与奨学金(有償貸)
支取区分 第1区分◆社会的優遇を必要とする人	最高月額給付、可	所得連動返還方式	月額120,000円	一時金500,000円
返済額	—	—	—	—
返還方式	—	—	—	—
保証方法	—	—	—	—
利率	—	—	—	—

※1 給付奨学金の月額は「利用条件」欄に記載の「支給区分」、奨学金の学校の学校種類、設置種(国公立及び専修学校(自宅外宿舎)により定めます。なお、実施状況は、説明書により毎年度利用に異なります。
 ※2 併用貸与の奨学金は、併用貸与(併)により毎年度利用に異なります。
 ※3 大学特別奨励金貸与奨学金は、貸与(貸与)により毎年度利用に異なります。併用貸与(併)により毎年度利用に異なります。併用貸与(併)により毎年度利用に異なります。
 ※4 海外大学進学者は、「奨励(奨励等)」は、奨励(奨励等)は、奨励(奨励等)を指す場合があります。

【注意事項】
 ① 本通知に同封されている「給付奨学生採用候補者のしおり」又は「貸与奨学生採用候補者のしおり」を必ず読んでください。
 ② 海外大学等進学者は、事前に記入のうえ、奨学金申込み用紙に貼付してください。期間内に手続きを完了してください。
 ③ 海外大学進学者は「貸与奨学生採用候補者のしおり」29ページに従って手続きを行ってください。

手続き概要

① 必要書類・事項の準備

内容の確認、保証人の依頼
教育ローン等の書類など、
必要事項をご準備ください

② 学籍番号の確認

「入学者向けホームページ」
に、4/1(月)に学籍番号を公
表しますのでご確認ください

③ 決定通知（進学先提出用） 裏面の記入

学籍番号・学部学科・氏名・
連絡先を記入し、該当する
項目にチェックしてください

④ 大学へ書類を提出

決定通知（進学先提出用）
および必要書類を大学へ提出
してください

⑤ 識別番号の受け取り

大学より識別番号
（ユーザーID・パスワード）
を交付します

⑥ 進学届を提出

「スカラネット」から
進学届を提出してください
（WEBによる入力・送信）

⑦ 奨学金の振込開始

不備なく手続きされた場合、
初回振込日から振込が開始さ
れます

⑧ 採用後手続き

ご利用の奨学金により、
返還誓約書等の提出が必要
（5月～6月頃）

採用候補者決定通知について

令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知は、ミシン目で切り離してください。

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。

令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】

令和5年10月16日

登録番号 99999901-100-00999

学年等 3年 10組

出席番号 A000001

氏名 学校用 見本 (カマコガミ様)

* 99999901 #5999999

交付書類コード=F

※コードにより交付される書類が異なります。封筒の裏面にご確認ください。

独立行政法人日本学生支援機構

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	貸与奨学金			
	第1希望	第2希望	第3希望	入時特別増額貸与奨学金
希望する	併用貸与	第一種奨学金	第二種奨学金	希望する

選考結果

	貸与奨学金		貸与奨学金	
	併用貸与(注1)	第一種奨学金	第二種奨学金	入時特別増額貸与奨学金
奨学生決定	○	○	○	○
支援区分: 第1区分	○	○	○	○
要件確認	○	○	○	○
国籍・在留資格等	○	○	○	○
家計に関する基準	○	○	○	○
学業成績・学修意欲に関する基準	○	○	○	○
高卒後の期間・高卒認定合格(見込)	○	○	○	○
必要書類の提出(注2)	○	○	○	○

2. 採用候補者となった奨学金の内容について

利用条件	給付奨学金(注3)	第一種奨学金(無利子)(注3)	第二種奨学金(有利子)	入時特別増額貸与奨学金(有利子)
支援区分: 第1区分◆社会的養護を必要とする人	最高月額利用: 可 猶予年限特例: 対象	最高月額利用: 可 猶予年限特例: 対象	最高月額利用: 可 猶予年限特例: 対象	最高月額利用: 可 猶予年限特例: 対象
貸与額	最高月額	最高月額	最高月額	最高月額
返還方式	定額返還方式	定額返還方式	定額返還方式	定額返還方式
保証制度	機関保証	人的保証	人的保証	人的保証
利率	利率見直し方式	利率見直し方式	利率見直し方式	利率見直し方式

※1 併用貸与とは、第一種奨学金と第二種奨学金の両方の貸与を受けることを表します。
 ※2 「○」は各要件・資格等に該当し、「×」は非該当(必要書類の不備が解消されていない場合や未提出の場合等の理由による判定不可を含む)、「―」は申込時に希望していない(もしくは希望期間の満了が決定しているため未判定である)ことを表します。
 ※3 「必要書類の提出」の「必要書類」とは、「奨学金協議書」・マイナンバーを提出できない場合の「所得証明書」等又は「国籍・在留資格に関する証明書(該当者のみ)」等です。

※4 海外大学進学者は「奨学金返還制」の両方への加入が必要となります。

(注意事項)
 ① 本通知に同封されている「給付奨学生採用候補者のしおり」又は「貸与奨学生採用候補者のしおり」を必ず読んでください。
 ② 国内大学等進学者は、裏面に記入のうえ、進学後すみやかに進学先学校に提出し、期限内に手続きをしてください。
 ③ 海外大学進学者は「貸与奨学生採用候補者のしおり」29ページに従って手続きを行ってください。

提出用を入学後に大学へ提出してください。

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。

令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知【本人保管用】

令和5年10月16日

登録番号 99999901-100-00999

学年等 3年 10組

出席番号 A000001

氏名 学校用 見本 (カマコガミ様)

独立行政法人 日本学生支援機構

(印影印刷)

本機構は、あなたを下記のとおり令和6年度大学等奨学生採用候補者に決定しました。ついでには、あなたが令和6年度に本機構奨学金対象の学校に進学(高等専門学校3年次生の場合は本機構奨学金対象の高等専門学校4年次に進級又は本機構奨学金対象の学校に進学。以下同じ。)し、定められた期限までに所定の手続きを完了したときに限り、奨学生として採用し、奨学金の振込みを開始します。

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	貸与奨学金			
	第1希望	第2希望	第3希望	入時特別増額貸与奨学金
希望する	併用貸与	第一種奨学金	第二種奨学金	希望する

選考結果

	貸与奨学金		貸与奨学金	
	併用貸与(注1)	第一種奨学金	第二種奨学金	入時特別増額貸与奨学金
奨学生決定	○	○	○	○
支援区分: 第1区分	○	○	○	○
要件確認	○	○	○	○
国籍・在留資格等	○	○	○	○
家計に関する基準	○	○	○	○
学業成績・学修意欲に関する基準	○	○	○	○
高卒後の期間・高卒認定合格(見込)	○	○	○	○
必要書類の提出(注2)	○	○	○	○

2. 採用候補者となった奨学金の内容について

利用条件	給付奨学金(注3)	第一種奨学金(無利子)(注3)	第二種奨学金(有利子)	入時特別増額貸与奨学金(有利子)
支援区分: 第1区分◆社会的養護を必要とする人	最高月額利用: 可 猶予年限特例: 対象	最高月額利用: 可 猶予年限特例: 対象	最高月額利用: 可 猶予年限特例: 対象	最高月額利用: 可 猶予年限特例: 対象
貸与額	最高月額	最高月額	最高月額	最高月額
返還方式	定額返還方式	定額返還方式	定額返還方式	定額返還方式
保証制度	機関保証	人的保証	人的保証	人的保証
利率	利率見直し方式	利率見直し方式	利率見直し方式	利率見直し方式

※1 併用貸与とは、第一種奨学金と第二種奨学金の両方の貸与を受けることを表します。
 ※2 「○」は各要件・資格等に該当し、「×」は非該当(必要書類の不備が解消されていない場合や未提出の場合等の理由による判定不可を含む)、「―」は申込時に希望していない(もしくは希望期間の満了が決定しているため未判定である)ことを表します。
 ※3 「必要書類の提出」の「必要書類」とは、「奨学金協議書」・マイナンバーを提出できない場合の「所得証明書」等又は「国籍・在留資格に関する証明書(該当者のみ)」等です。

※4 海外大学進学者は「奨学金返還制」の両方への加入が必要となります。

(注意事項)
 ① 本通知に同封されている「給付奨学生採用候補者のしおり」又は「貸与奨学生採用候補者のしおり」を必ず読んでください。
 ② 国内大学等進学者は、裏面に記入のうえ、進学後すみやかに進学先学校に提出し、期限内に手続きをしてください。
 ③ 海外大学進学者は「貸与奨学生採用候補者のしおり」29ページに従って手続きを行ってください。

進学届提出用パスワード(半角英数字10桁)
 ※ 進学後の手続きに必要になります。
 ABCDE98765

※裏面の「重要事項」を必ず確認してください。
 ※本通知を紛失した場合には、奨学金の振込開始が大幅に遅れますので、紛失しないよう大切に保管してください。

本人保管用は進学届提出に必要なパスワードが記載されています。必ずお手元に保管してください。

進学先提出用

本人保管用

奨学金の選考結果の確認 ①

採用となった奨学金の内容を必ず確認してください。

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	給付奨学金	貸与奨学金			
		第1希望	第2希望	第3希望	入学時特別増額貸与奨学金
	希望する	併用貸与	第一種奨学金	第二種奨学金	希望する

選考結果	給付奨学金	貸与奨学金			
		併用貸与 ^(※1)	第一種奨学金	第二種奨学金	
		候補者決定 支援区分：第I区分	候補者決定	—	—
要件確認 ^(※2)	国籍・在留資格等	○	○	—	—
	家計に関する基準	○	○	—	—
	学業成績・学修意欲に関する基準	○	○	—	—
	高卒後の期間、高卒認定合格(見込)	○	○	—	—
	必要書類の提出 ^(※3)	○	○	—	—

※1 併用貸与とは、第一種奨学金と第二種奨学金の両方の貸与を受けることを表します。

※2 「○」は各要件・資格等に該当、「×」は非該当(必要書類の不備が解消されていない場合や未提出の場合等の理由による判定不可を含む。); 「—」は申込時に希望していない(もしくは希望順位の高い種類が決定した)ため未判定であることを表します。

※3 「必要書類の提出」の「必要書類」とは、「奨学金確認書」、マイナンバーを提出できない場合の「所得証明書」等又は国籍・在留資格に関する証明書(該当者のみ)等です。

給付奨学金：

返還の必要がない奨学金

第一種奨学金（貸与）：

返還の必要がある**無**利子の奨学金

併用貸与：

第一種、第二種の併用

第二種奨学金（貸与）：

返還の必要がある**有**利子の奨学金

選考結果が不採用の場合、その奨学金については予約採用で手続きできません。

奨学金の選考結果の確認 ②

採用となった奨学金の内容を必ず確認してください。

2. 採用候補者となった奨学金の内容について

		給付奨学金 (注1)	第一種奨学金 (無利子) (注3)	第二種奨学金 (有利子)	入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)
利用条件		支援区分：第Ⅰ区分◆ 社会的養護を必要とする人	最高月額利用：可 猶予年限特例：対象		日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：不要
申込時の 選択内容 (注2)	貸与額	*****	最高月額	月額120,000円	一時金500,000円
	返還方式	*****	所得連動返還方式	定額返還方式	定額返還方式
	保証制度(注4)	*****	機関保証	人的保証	人的保証
	利率の算定方法	*****	*****	利率見直し方式	利率見直し方式

注1 給付奨学金の月額額は「利用条件」欄に記載の「支援区分」、進学先の学校の学校種別、設置者（国公私）及び進学形態（自宅進学・自宅外進学）により定ま

以下の項目については進学届提出時に変更可能です。

- ・ 貸与月額
- ・ 利率の算定方法（利率固定方式、利率見直し方式）
- ・ 返還方式（所得連動返還方式、定額返還方式）
- ・ 保証制度（人的保証、機関保証）
- ・ 併用貸与のどちらかを辞退
- ・ 入学時特別増額貸与奨学金の辞退

交付コード毎の提出物について

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。

令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】

平成29年11月16日

登録番号	99999901-100-00999		
学年等	3年	10組	
	出席番号	A000001	
氏名	学校用 見本 (カヅコ ミナ)		
	* 99999901	#5999999	

独立行政法人日本学生支援機構

交付書類コード = F

※コードにより交付される書類が異なります。封筒の裏面にてご確認ください。

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	貸与奨学金			
	第1希望	第2希望	第3希望	入学時特別増額貸与奨学金
希望する	併用貸与	第一種奨学金	第二種奨学金	希望する

選考結果

要件確認	貸与奨学金			
	併用貸与(併1)	第一種奨学金	第二種奨学金	入学時特別増額貸与奨学金(有利子)
国籍・在留資格等	○	○	—	—
家計に関する基準	○	○	—	—
学業成績・学修意欲に関する基準	○	○	—	—
高卒後の期間・高卒認定合格(見込)	○	○	—	—
必要書類の提出	○	○	—	—

※1 併用貸与とは、第一種奨学金と第二種奨学金の両方の貸与を受けることを表します。
 ※2 「○」は各要件・資格等に該当、「×」は非該当(必要書類の不備が解消されていない場合や未提出の場合等の理由により判定不可を含む)、「—」は申込時に希望していない(もしくは希望期間の高位種別が決定した)ため未判定であることを表します。
 ※3 「必要書類の提出」は「必要書類」とは、「奨学金確認書」、マイナンバーを提出できない場合の「所得証明書」等又は国籍・在留資格に関する証明書(該当者のみ)等です。

2. 採用候補者となった奨学金の内容について

利用条件	給付奨学金(無利子)	第一種奨学金(無利子)	第二種奨学金(有利子)	入学時特別増額貸与奨学金(有利子)
	支援区分: 第1区分◆ 社会的養護を必要とする人	最高月額利用: 可 猶予年限特例: 対象		
申込時の選択内容	貸与額 返還方式 保証制度 利率見直し方法	最高月額 所得運動返還方式 機関保証	月額120,000円 定額返還方式 人的保証	一時金500,000円 定額返還方式 人的保証 利率見直し方式

注1 給付奨学金の月額とは「利用条件」欄に記載の「支援区分」、進学先の学校の学校種別、設置者(国・公立)及び通学形態(自宅通学・自宅外通学)により定まります。なお、支援区分は、家計の状況により毎年(原則10月)に見直しされます。
 注2 給付奨学金の返還方法は、奨学金の返還区分(「奨学金」欄)の「返還区分」から進学する場合は、又は、社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から進学する場合は給付奨学金の返還は、月額表「給付奨学生採用候補者のしおり」(参照)に記載の()内の金額になります。
 注3 貸与奨学金に係る「申込時の選択内容」に記載の内容は、「進学先」の提出時に改めて選択し直すことができます。「進学先」の提出により内容が確定し、その後は変更できない等の制限が発生することがあります。
 注4 第一種奨学金の貸与月額は、進学先の学校の学校種別、設置者(国・公立)及び通学形態(自宅通学・自宅外通学)により定まる金額(「貸与奨学生採用候補者のしおり」参照)から「進学先」にて選択します。ただし、第一種奨学金の「利用条件」欄に「最高月額利用: 不可」と印字されている場合、「最高月額」は利用できません(「最高月額以外の月額」からの選択となります)。また、給付奨学金を併せて利用する場合は、第一種奨学金の貸与月額が制限されます。
 注5 海外大学進学者は「機関保証制度」「人的保証制度」の両方への加入が必要です。

(注意事項)

- 本通知に同封されている「給付奨学生採用候補者のしおり」又は「貸与奨学生採用候補者のしおり」を必ず読んでください。
- 国内大学等進学者は、裏面に記入のうえ、進学後すみやかに進学先学校に提出し、期限内に手続きをしてください。
- 海外大学進学者は「貸与奨学生採用候補者のしおり」29ページに従って手続きを行ってください。

全員

8P

令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知【進学先提出用】

※裏面を必ず記入してください。(次ページ参照)
 ※本人保管用は大学に提出をしないでください。

交付コードが B E

9P

- 入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書
- 融資できない旨を記載した日本政策金融公庫の通知文のコピー(裏表必要)

※上記2点の書類を用意できない場合は入学時特別増額貸与奨学金を利用することはできませんので辞退をしてください。

進学先提出用 裏面の記載について

必ずボールペン等で記入すること
(消えるボールペン、鉛筆は不可)

【(国内大学等進学用) 進学後記入欄】

※海外大学進学票は使用できません

学籍番号	
学部・学科	
(フリガナ)	
氏名	
進学後の 連絡先 (本人)	住所
	〒
電話番号	- - 携帯 電話番号 - -

1. 奨学金振込口座について (全員次の口にチェック)

採用候補者本人名義の普通預金(通常貯金)口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの口にチェック)

進学届にて「自宅通学」を選択します(入学月より自宅通学となるため)。
 進学届にて「自宅外通学」を選択します(入学月より自宅外通学となるため)。
ついては、進学先の学校へ入学月において自宅外通学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金
(入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込:必要」と印字がある人は、次のどちらかの口にチェック)

入学時特別増額貸与奨学金を利用します。
ついては、本紙に次の2点の書類を添えて提出します。
① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」(本通知に同封の様式)
② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー
(圧着はかきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します。)

入学時特別増額貸与奨学金を辞退します(必要書類が揃えられなかった場合を含む)。
ついては、インターネットによる進学届提出時に、併せて辞退の手続きを行います。

(2) 保証制度 (「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの口にチェック)

連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。
 進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します(条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む)。

全員記入

- 4月1日(土)午後に学籍番号を公表します。
必ず学籍番号を記入してください。
- 固定電話がない場合は記載不要です。
- 奨学金の振込口座は、必ず学生名義の口座をご用意ください。

給付奨学金の採用候補者 (D~G)

- 給付奨学金の採用候補者は、必ず「自宅通学」または「自宅外通学」を選んでください。
- 「自宅外通学」を選んだ方は、**自宅外通学の証明書類**の提出が必要となります。

入学時特別増額貸与奨学金 (B、E)

- 交付コードがBまたはEの方は必ずどちらかを選んでください。
(詳細は10ページ参照)

人的保証を選択している方

👉 15P

- 必ず連帯保証人及び保証人に保証制度について確認し、「人的保証要件が確認されている」または「機関保証への変更」について選んでください。

入学時特別増額貸与奨学金について

交付書類コードがBまたはEの方（日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込）：**必要**と記載）

交付書類コードは **BまたはE**

入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)
日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込： 必要
一時金500,000円
定額返還方式
人的保証
利率見直し方式

間違いが多い所です
該当者は必ず
確認してください！

入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書

「採用候補者決定通知」にて、入学時特別増額貸与奨学金について日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込
必要と記載された人は、進学届、この様式も進学先の学校へ提出する必要があります。

入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書

（西暦） 年 月 日

独立行政法人日本学生支援機構理事長 様

入学時特別増額貸与奨学金の申込にあたり、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を下記のお申し込み
のため、融資を受けることができたことを申告します。

1. 申込者（採用候補者本人） ※採用候補者本人記入

登録番号	100	107
フリガナ		
氏名	生年月日	※学生本人の生年月日記入 西暦 年 月 日
学校名	学部・研究科	学部・専攻

2. 「国の教育ローン」の申込について ※申込者（採用候補者）又は採用候補者本人の印で記入

申込者 (保護者名)	氏名	採用候補者本人が 記入関係（続柄）
申込年月日 (西暦)	年 月 日	※国の教育ローンが申込済みの場合は記入
申込先 金融機関	支店	支店

3. 交付書類について

融資できない旨を記載した日本政策金融公庫発行の通知文の「
（注）はが他の場合は、申込者氏名が印字されている宛名欄を併せて記入しなさい。」
本申込書に 【 添付します ・ 添付できません 】 ←E5686C0

「添付できません」は返戻のし場合は、
必ず裏面に記入してください

【 進学先学校記入欄 】

学校番号

入学時特別増額貸与
奨学金に係る申告書

No. 00-000

平成00年00月00日

162-8431

新宿区市谷本村町10-7

株式会社日本政策金融公庫
(国策生活事業)

印

権 大郎 様

謹 啓

このたびのお申込につきましては、当公庫といたしましても、できるだけご希望にそえるよう検討させていただきましたが、残念ながらご希望に届くことができませんでした。

何卒ご了承くださいませようご通知させていただきますとともに、ご相談に際しましては、種々ご協力いただきましたことにお礼申し上げます。

謹 白

融資できない旨を記載した
日本政策金融公庫の通知文の
コピー（裏表必要）

両方の書類を提出できない方は、入学時特別増額貸与奨学金を受けることはできませんので、必ず「**辞退**」してください。

（採用候補者決定通知で「**辞退にチェック**」し、進学届で「**希望しない**」を選択すること）

予約採用申請スケジュール

採用回（月）	進学届提出締切	初回振込日
第1回 (4月採用)	4月8日(月)	4月19日(金)
第2回 (5月採用)	4月24日(水)	5月16日(木)
第3回 (6月採用)	5月23日(木)	6月11日(火)

奨学金の貸与始期はいずれの回も2024年4月となります。

5月採用は初回振込日に2ヶ月分、6月採用は初回振込日に3ヶ月分が振り込まれます。

総額は変わりませんが、お早めの手続きをお願いします。

書類の提出 → 識別番号の交付 → 進学届の提出

書類の提出方法

※以下、いずれかの方法で提出してください。

- ① 4月1日（月）以降、郵送にて提出（レターパックを使用）
- ② 4月8日（月）・4月9日（火）の予約採用手続き会にて提出
- ③ 4月10日（水）以降、学生課窓口に提出

識別番号の交付

提出書類等に不備がないことが確認できましたら、紙面またはメールにて
識別番号・進学届下書き用紙・進学届入力に関する注意事項をお渡しします。
※メール送信は②の郵送の場合です。また、学籍番号のメールアドレスに送付いたします。

進学届の提出

進学届提出用ホームページ（インターネット）を用いて進学届を提出してください。**上記の手続きを実施しないと正式な採用となりません。**

窓口提出の場合（手続会含む）

①採用候補者決定通知【提出用】

全員、必ず裏面を記載

②入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書等

対象者のみ

予約採用 手続会

第1回(4月採用)で
申し込みをしたい場合は
8日の手続会に参加するか、
郵送での手続きを
お願いします

4月8日(月)

①10:00～ ②14:00～

4月9日(火)

①16:00～

郵送提出の場合（窓口提出できない場合）



必ずレターパックライトを用いて送付すること

①採用候補者決定通知【提出用】

全員、必ず裏面を記載

氏名	性別	生年月日	学歴	専攻科	専攻	学業成績	面接	採用
山田 太郎	男	1998.03.15	新潟県立大学	経済学	経済学	85	○	○
田中 花子	女	1999.07.22	新潟県立大学	経済学	経済学	82	○	○
佐藤 健一	男	1997.11.08	新潟県立大学	経済学	経済学	88	○	○
鈴木 美咲	女	1998.05.30	新潟県立大学	経済学	経済学	80	○	○
高橋 誠二	男	1999.01.12	新潟県立大学	経済学	経済学	83	○	○

第1回(4月採用)で
申し込みをしたい場合は
8日の手続き会に参加するか、
郵送での手続きを
お願いします

②入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書等

対象者のみ

入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書

氏名: 山田 太郎
性別: 男
生年月日: 1998.03.15
学歴: 新潟県立大学
専攻科: 経済学
専攻: 経済学
学業成績: 85
面接: ○
採用: ○

③返信用レターパック

進学届下書き用紙を
紙面にて欲しい方のみ



13
返信用レターパックは折って封入してください

採用後① 返還誓約書の提出について

奨学金の採用月の月末頃に返還誓約書を交付する予定です。その1ヶ月後の月末（5月採用であれば6月末頃）に各書類を提出いただきます。

【要確認】 人的保証について

連帯保証人（原則、父または母）は**印鑑登録証明書**と**所得に関する証明書**の提出が必要です。

保証人については、65歳未満の4親等以内の親族であれば、基本**印鑑登録証明書のみ**必要となります。

注意：4親等以内ではあるが65歳以上の方、また親族でない方を保証人に選任した場合は、印鑑登録証明書の他に**返還保証書**と**返還を確実に保証できる資力を有すると確認できる書類**（所得証明書、預貯金残高証明書、固定資産評価証明書など）の提出が必要となります。

保証人の選定が難しい場合は、進学届提出の時点で「機関保証」を選択してください。

採用後② 継続願・適格認定・在籍報告について

奨学生として採用された場合、修業年限まで奨学金を利用できますが、年1回（12月ごろ）、**次年度奨学金の継続願**を届ける必要があります。また、学修状況や生活状況から、奨学生として採用された後も奨学生として相応しいかどうか**適格認定**を行います。適格認定の結果によっては、奨学金の利用が廃止されたり、停止されたりする場合があります。

給付奨学生のみ

給付奨学生は奨学金の受給にあたり、上記の継続願と適格認定の他に、毎年4月・10月に**在籍報告**をする必要があります。また、毎年9月に家計基準の審査があり、支援区分が変更となる場合があります。

奨学金に関する諸手続きについては、学内ポータルサイトや学内メールなどでお伝えします。**確認しなかった場合や対応・提出がなかった場合による不利益は学生個人の責任となりますのでご注意ください。**

他団体奨学金の併用および併給調整について

他団体との奨学金の併用について

日本学生支援機構の奨学金は**他団体奨学金との併用を認めています**。

ただし、他の奨学金のなかには日本学生支援機構の奨学金との併用を認めないものもありますので、当該団体に確認してください。

第一種奨学金の併給調整について

日本学生支援機構の給付奨学金と併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合、**貸与を受けられる月額の上限額が制限（併給調整）**されます。

予約採用で第一種奨学金の貸与を受けて

いる方が在学採用で給付奨学金に採用された場合、4月以降に貸与を受けた金額については返戻（返金）が発生する可能性があります。

【併給調整後の第一種奨学金の貸与月額】

支援区分	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分 第Ⅱ区分	0円	0円
第Ⅲ区分	21,700円	19,200円
第Ⅳ区分	29,800円	20,000円 or 30,400円

その他の奨学金について

日本学生支援機構以外にも、地方公共団体や民間団体による奨学金があります。給付型奨学金や、就職や在住などを条件として卒業後に返還免除がある貸与型奨学金などさまざまな種類があり、日本学生支援機構など他の奨学金と併用利用が可能であるものなど利用条件も多様です。

多くの奨学団体は毎年4月～5月に新規募集を行いますが、申請時期等もそれぞれ異なります。

各奨学団体より大学に募集要項が届いたものは本学ポータルサイトに掲示しますが、原則、利用したい奨学金についてはご自身で申請を行ってください。

本学学生が利用する主なその他の奨学金 例

- ・新潟県奨学金
- ・新潟市奨学金
- ・新潟県看護職員臨時修学資金
- ・新潟県介護福祉士等修学資金
- ・福島県奨学金
- ・福島県理学療法士等修学資金
- ・福島県保健師等修学資金
- ・秋田県理学療法士等修学資金
- ・古泉財団奨学金
- ・田中育英会奨学金
- ・山口育英奨学会
- ・あしなが奨学金
- ・交通遺児育英会

その他注意事項、よくある質問①

- **現住所は学生が現在住んでいる住所です。**（住民票の住所と違っていても構いません）
- 日本学生支援機構の奨学金手続きの人的保証においては、
連帯保証人 → 原則、父母
保証人 → 原則、おじ・おば等の65歳未満の4親等以内の親族
※大学の「保証人」とは考え方が違いますのでご注意ください
- 進学届で入力いただく項目が、その後の返還誓約書等に印字されます。
印鑑登録証明書等と同じ正確な住所を入力してください。
入力内容に誤りがあると、その後の訂正が非常に煩雑となります。
- 予約採用で採用された奨学金の内容（貸与月額、保証制度など）は進学届提出時に変更可能ですが、**提出後の変更は貸与月額の変更以外は難しいため、進学届は慎重に選択・提出してください。**（特に保証制度はご注意ください）

その他注意事項、よくある質問②

- 予約採用で採用された奨学金種別について、進学届で申請しないことも可能です。
 - （例①：併用貸与で採用されたが、第一種奨学金のみを利用することは可能）
 - （例②：採用されたが奨学金を利用しない場合は、手続きは不要。ただし、採用候補者決定通知を提出した後に手続きしないことにした場合は学生課にご連絡ください。）
- 予約採用で、不採用あるいは申請していない奨学金については在学採用として新たに申請することは可能です。
 - （例：第一種奨学金が予約採用で不採用であった場合、在学採用として申請可能）
- 人的保証で、離婚した父（または母）を保証人に選任することは可能ですが、**返還保証書と返還保証の資力を証明する書類の提出が必要となります。**保証人の続柄は「父」（または「母」）ではなく、「**その他（知人等）**」としてください。

予約採用時から、家族構成、姓名等の変更があった場合などのご連絡・ご相談ください。

奨学金に関するお問い合わせ

新潟医療福祉大学 学務部 学生課

お問い合わせは、原則メールにてお受けいたします

syougaku@nuhw.ac.jp

(書類 提出先・郵送先)

〒 950-3198

新潟県新潟市北区島見町1398番地

新潟医療福祉大学 学生課奨学金担当 宛